

明日の大地

北海道新篠津高等養護学校

学校だより

平成30年度第3号 10月26日発行

Tel 0126-58-3280

HP <http://www.shinko.hokkaido-c.ed>

新高祭 『楽しもうぜ！平成最後の新高祭 2018』

文化体育部長 須藤 栄子

最大行事「新高祭」が、11月16日（金）～17日（土）に実施されます。

今年の北海道は、胆振東部地震と台風の度重なる被害が全道各地に広がり、完全復興されてない地域の方々におかれましては、未だ不自由な生活が続いています。私たちは、今、こうして普段どおりに生活ができること、今年も学校祭を開催できること・・・あらためて、「あたりまえ」に感謝をして毎日を過ごしていかななくてはならないと強く感じています。

「平成最後の学校祭」にお越し頂いた方々に元気と笑顔をお届けできるよう、生徒は趣向を凝らした学科企画や行列必至の製品即売会を計画し、なにより生徒自身が皆様をお迎えすることを楽しみに準備をしております。目標を持って前向きに活動する生徒の姿をたくさんの方々に御覧いただけますよう御来場お待ちしております。

●新高祭1日目 11月16日（金）

8:50 開場（保護者出入口は生徒玄関）
9:10～9:25 オープニングセレモニー
9:25～ 部活動発表
12:10 かくし芸大会、かくし芸大会表彰

※一般公開はいたしません（保護者、来賓のみの公開）

●新高祭2日目 11月17日（土） *日程が大幅に変更になっております。

8:50 開場
9:20～9:50 1学年発表
10:00～10:30 2学年発表 *10:00～13:30 外部販売（食堂）開店
10:40～11:10 3学年発表
11:45～13:35 学科生産品即売会&学科企画



	生産品即売会	学科企画
生活園芸科・園芸科	格技場（1階）	理科室（2階）
生活技術科・生産技術科	格技場（1階）	生活技術科実習室（1階）
産業科・窯業科	格技場（1階）	なし
木工科	木工実習室（1階）	音楽室（2階）
生活家庭科・家庭総合科	生徒会室（1階）	生徒会室前（1階）
家庭科・環境流通科	家庭科実習室（1階）	家庭科実習室（1階）
クリーニング科	なし	美術室（1階）

13:50～14:10 フィナーレ

◎学科企画（模擬店）に関わるお願い

- ・学科企画や外部物品販売により、軽食程度の飲食物販売が行われます。販売については前売り券を扱わず、当日現金販売とさせていただきますので、釣り銭のないようご協力をお願いします。また数に限りがありますので、予め御了承ください。なお、生徒の昼食は、学年ごとに職員と摂ることになっております。

◎学年発表に関わるお願い

- ・上記の時間で各学年による舞台発表が行われますが、演目が早めに終了した場合は、順次繰り上げとなります。また、公演中の体育館の入退場を制限させていただきます。予め御了承ください。（幕間のタイミングなど見計らって、担当者が扉の開閉を行います。）
- ・座敷席も用意しております。寒さが気になる方は、座布団や膝かけを御用意ください。

◎感染症予防対策に関わるお願い

- ・上履き、下足入れ（ビニール袋）を御持参願います。また会場ではインフルエンザ等の予防のため、消毒薬を準備しております。入場の際には手指の消毒をお願いします。

学校の防災体制について

教頭 越田 淳

9月、10月と台風や地震が相次ぎ、保護者の皆様には臨時休校や帰省・帰舎に伴う送迎などで、御理解と御協力をいただきましたことに、厚く御礼申し上げます。

今回の台風や地震を受け、本校では(1)停電にともなう断水への対応、食事の提供などのライフラインの確保、(2)学校再開の条件、の2点について検討してきました。

(1) 停電にともなう断水への対応、食事の提供などのライフラインの確保について

9月6日(木)の地震では、発生後約20分で停電になりました。本校の給水施設は電動ポンプで水を送っているため、停電になると水が出なくなりますが、プールの更衣室の手洗い場はその影響を受けず水が出たので、トイレに必要な水をそこから確保しました。

朝食と給食については、厨房のガスコンロが一部使用できたので汁物を提供し、それ以外は乾パンやペットボトルの水などの備蓄食料品で対応しました。しかし、学校にある備蓄食料では、翌日以降の寄宿舎生全員の食事量を確保することが難しいことから、安全を確認した上で保護者のお迎えによる帰省をお願いした次第です。

なお、復旧後PTA会費等で「乾パン約500缶、水(500ml換算)約900本、レトルトカレー150袋、アルファ米150袋」の備蓄食料を追加購入しました。少しずつ食べるという条件になりますが、概ね生徒2日分の食料になります。

(2) 学校再開の条件について

本校では現在、128名の全校生徒のうち117名が寄宿舎を利用しています。そのうち半数程度の生徒が公共交通機関を利用して単独で帰省、帰舎しています。通学生も、単独で公共交通機関を利用し、登下校しています。

学校再開の決定については、①ライフライン(電気、水道、食材の確保、冬期間の暖房)の復旧、②公共交通機関の再開、③校舎施設の安全確認などの観点から判断しています。特に、生徒が安全に登下校や帰舎できることを最優先に考え、これらの条件が整う期間を含めて、学校再開の日を決定しています。今後も台風や暴風雪などの際には、このような考え方に基づいて臨時休校及び学校再開を判断していきます。

これ以外についても、今回の災害による対応を見直し、すぐに取り組める改善点については早急に対応するなど、防災体制の整備に努めているところです。御家庭からの要望がありましたら、学校にぜひお伝えください。



2学年職場・福祉事業所見学

2学年 横田 里佳

9月末から始まる現場実習に向けた事前学習の一環として、将来の生活や就労に対する関心を高めること、自分の進路について具体的に考える機会とすること、現場実習に向けて意識を高めることをねらい、7月19日に職場・福祉事業所見学を実施しました。

当日は岩見沢方面、札幌西方面、北広島方面の3コースに分かれ、どのコースも「働く場」と「生活の場」を見学させていただきました。各見学先では担当の方からの説明を生徒個々がメモを取りながら熱心に聞き、勤務時間や休憩の様子、働く上で気を付けなければいけないこと、求められる力など、聞きたいこと、知りたいことを積極的に質問する姿が見られました。また、実際に先輩の皆さんが働いている様子を見たり、生活の場に足を踏み入れて見学したり、見聞を広めた後には、「自分もこうなりたい」「自分で自分のことをもっとできるようになりたい」「働くことの大変さが良く分かった」といった感想が聞かれるなど、ねらいの通り、関心を高め、具体的に考える機会となりました。今回学んだこと、感じたことが、現場実習の中で生かされたことと思います。



学校開放講座を終えて

総務部 油谷 美恵子



夏休み中の7月27日(金)、新篠津村内の小学生を対象に学校開放講座を開催しました。今年度は、陶芸教室10名、木工教室4名、クッキング5名の参加でした。初めて参加するお子さんも何回か参加したことがあるお子さんも緊張しつつも楽しみな様子で開講式が行われました。

陶芸教室では、「小皿・中皿」作りをしました。担当講師の話真剣に聞き、優しく丁寧に粘土を扱い、それぞれの思いがこもったお皿を作りました。

木工教室では、「木の時計」と「フシギ木琴」を作りました。好きな色の絵の具を土台となる板に塗り、枝で飾り付けをしてとても素敵な時計を完成させました。

クッキングでは、「キラしゅわ☆カラフルゼリー」を作りました。食紅を混ぜオリジナルのゼリーを作りました。完成したゼリーはとてもキラキラしていてみんな笑顔になりました。

夏休みの貴重な一日を各講座で楽しく過ごすことができたのではないのでしょうか。元気いっぱい笑顔いっぱいの小学生の皆さんの一生懸命に頑張る姿でこちらも楽しい時間を過ごすことができました。

短い時間ではありましたが、夏休みの楽しい思い出の1ページとなっていたいただけたなら幸いです。



第39回 青空まつり

総務部 香城 望

8月25日(土)新篠津村の青空祭りに『窯業科・家庭総合科の販売』『PTA 厚生部によるリサイクルバザー』『寄宿舍による山車と踊り』の3つの部門で参加の予定でしたが、当日の天候不良が予想されたことから新篠津村の判断により中止となりました。準備や練習を重ねてきた生徒や保護者の皆さんにとっては残念な結果となってしまいました。

ところで、今年度、長年使用してきた本校の山車を十数年ぶりにリニューアルしました。今年度のお祭りの中で、お披露目する機会がなかったので、この場を借りて御紹介させていただきます。

山車のデザインは美術科の濱田教諭が、制作は寄宿舍職員で行いました。ねふた祭りの山車の基本の構成を参考に、正面の鏡絵(かがみえ)には荒々しい武将を、裏面の見送り絵(みおくりえ)には美人画をそれぞれ描きました。本校の山車の「鏡絵」と「見送り絵」をよく見ると、それぞれ武将や美人画の中に、学科のモチーフが隠されていることが分かります。「園芸科はきゅうりを収穫」「生産技術科は手にコーヒーカーップ」「窯業科は花瓶の制作」「木工科は手にドリル」「家庭総合科はミシンがけ」「クリーニング科は手にシーツ」など、ギミックに富んだ作風に仕上がっています。

来年度は、青空のもとで、皆が元気に参加できることを願っています。



しんしのつ会 1泊旅行

進路指導部 古 東 貴美代

7月21日(土)から22日(日)、定山溪温泉ホテル鹿の湯にて、卒業生68名、職員20名、総勢88名の参加で卒業支援の『一泊旅行』が行われました。受付は13:30からですが、集合場所の札幌駅北口に午前中から来ている人もいて、今年は集合時間より早く出発することができました。現地の天気も良く、到着後、すぐに散策に出かけてソフトクリームを食べているグループもあり、皆それぞれに楽しい時間を過ごしていました。夕食は全員そろって宴会場で食べますが、豪華でおしゃれなおかず



たっぷりしている人もいました。2次会は、カラオケや部屋での女子会等々、久しぶりの仲間や先生との再会に、時間を忘れて遅くまで楽しみました。2日目、出発時間の10時まで自由時間。朝寝坊をする人、温泉にゆっくり入る人、朝ご飯のバイキングにたっぷり時間をかける人、お土産コーナーで買い物する人・・・それぞれのんびり楽しんでいました。



在校生の皆さんも、卒業後3年間は一泊旅行に参加することができます。懐かしい仲間や先生と一緒に、楽しい時間を過ごしませんか!?是非参加して、楽しい思い出を増やしてほしいと思います。

サッカー部紹介「全員で勝ち取った初優勝」

サッカー部顧問 松 山 佳 樹

7月27日(金)に第2回小野寺眞吾杯北海道特別支援学校フットサル大会が行われました。昨年の第1回大会から参加し、今年は5チームの予選ブロックに入りました。予選から接戦でしたが、何とか3勝1敗で1位突破し、決勝トーナメントに進出しました。

決勝トーナメントでは、準決勝で今金高等養護学校と対戦しました。7月の高等養護学校サッカー大会では、0-1で惜敗した相手とあり、生徒もスタッフもリベンジに燃えていました。試合開始から終了まで集中力を切らすことなく、5-2で勝利することができました。決勝戦の相手は、昨年の準優勝校である高等聾学校でした。前半の早い時間帯に先制に成功し、チーム全員で体を張った守備と攻守の切り替えを意識することができました。後半にも加点し、3-0で初優勝を飾ることができました。

今大会は、登録メンバーが8名と決まっており、顧問で選抜メンバーを選出し参加しました。会場に来ることができない部員達も直前の強化練習では文句も言わずに長時間の練習に取り組みました。優勝の瞬間は8名のメンバーと喜びを分かち合いましたが、私はサッカー部員15名全員で勝ち取った優勝だと感じています。

生徒達には、今日まで新高サッカー部に携わってくれた多くの皆様、大会運営に関わっていただいた関係者の方々、送迎等で御協力いただいた保護者の方々への感謝の気持ち、そして激闘を繰り広げた対戦相手へリスペクトの気持ちを忘れずに、これからも部活動に励んでほしいと思います。

サッカー部のみんな、本当におめでとう!!



編集後記

秋の深まりを感じながらも朝夕の寒さを覚える頃になりました。

さて11月には2学期最大の行事、「新高祭」が開催されます。現在、生徒と職員が丸丸となって準備を進めているところです。

是非、足をお運びいただき、温かい声援と拍手をよろしくお願いたします。

